

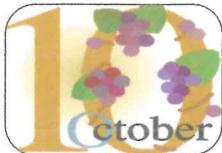
杜協
かるが

月刊

社協だより

発行：狩留家地区社会福祉協議会 編集：広報部
広島市安佐北区狩留家町3144番地 TEL：844-7278

平成28年
10月号



“小さな拠点作り”
右往左往しながら少し前進

執行部ではほぼ毎週月曜日の夜、町づくりの討議を重ねてきました。町民の皆様にも集まって頂き自由な話し合いを五回ほど持ちました。そのワーケショットの状況や内容について、報告書類として九月末に各戸配布しました。町民の皆様の拠点作りや町づくりについての想いや夢は報告書類の中にしっかりと浮上しています。しかし、予定の土地をどの様にするのか、建物のスペースをどのように組み立てるのか等の具体策は未だに明らかになつていません。

広島市は今までに「小さな拠点づくり」も「道の駅づくり」も行なつたことがなく、狩留家が初めてのケースだったのです。

祭りも過ぎ、一雨ごとに秋が深まっています。皆様方は、稻刈りも終わり、カープの応援に打ち込んでいらっしゃるのであります。狩留家では、昨年十二月に「狩過ぎようとしています。

十月九日、西八幡神の舞殿において、秋祭前夜祭の奉納神楽が、後六時から十一時にかけて行われました。

三年に一回の奉納神楽も、今回で六回目を迎十五年目となり、琴庄神楽団の出演は、三回目にになりました。西八幡神社氏子の皆様の賛同を得て、初穂料に加えて積立金をして実施出来、観客が境内にぎっシリとなり、盛大な拍手と応援を受けていました。

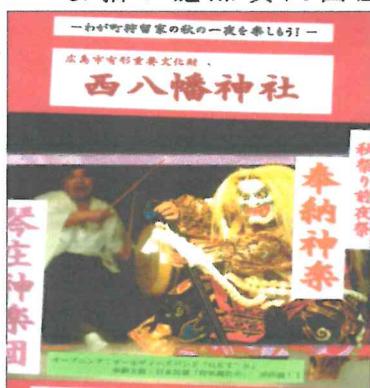
その為、取り扱いの専門部署もなく右往左往して居られたのが実態です。執行部では焦りを感じ、安佐北区に進行を日目に見えるようにして欲しいとお願いしました。今回、区長と市長に狩留家の町づくりのことについて再度話し合いを持つて頂き、区長より「できるだけ急いで対応する」との回答

わが町狩田家の奉納神楽の夜

立岩区長自らが狩留家町づくり推進協議会の特別顧問として入り、担当の山崎主幹を特別補佐官として入つて頂くということにして頂きました。狩りは今後少しづつ目に見える形で進んでいくと期待しています。

三、安心ネットについて
四、新春文化講演会の予告

(十一月二十七日) 吉(一月七日)



九月客源二三壳上一万四

アイマスク体験研修会開催

かこがわ子供フェスタにむけて

十月三日、狩留家集合所で視覚障害についての研修会がありました。

視覚障害者のつどい（こすもす）の辻村さんと坂本さんの体験談を聞きました。ニコニコ笑つてよく通る声で「見えない、見えにくいことは、とても不自由なのですが、不幸だとは思って居ないんですよ」と語り始められました。出かけたり人と会うのも大好き。でも

まわりが見えないので急に困つても自分からは声が出しにくい。段差・曲がり角・坂・テーブルやイス・乗り物などの物の位置の確認を手伝つてもらえると、自分で次の行動はできますとのこと。

を頂きました。その上、
狩留家住民と安佐北区
(行政)のパイプをより
太く・紐くするためで、

理事会の報告

議題 平成二十八年十月十一日

一、かこがわ子供フェスタについて（十月三十日）
二、AEC・心市・春生講習会について

二、AED・心肺蘇生講習会について
がごがね子供コスメにて(十月三十日)